

署名活動について 準備会からのお願い

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-33-22-203
「聴覚障害児の会」設立準備会
準備会代表 濱田 豊彦

皆さま 「聴覚障害児の会」設立準備会として、施設整備のための国庫補助交付金の申請をする時期も迫ってきました。

聴覚障害児を対象とするこの施設が、広域を対象として、東京都にぜひ1か所必要である、との理解を、関係者にいただくことが急務となっております。

そこで、東聴連(東京都聴覚障害者連盟)が中心となって、全都の聴覚障害者協会が署名活動を始めてくださいました。

都立ろう学校 PTA 連合会の保護者の方々も始めてくださっております。

この準備会のホームページをご覧になりました皆様にもご支援とご協力をお願いいたします。

用紙はダウンロードしていただいて、集まりましたら、表記の事務局あてお送りいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

厚生労働大臣 様
東京都知事 様

(提出者)
〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-33-22-203
「聴覚障害児の会」設立準備会
準備会代表 濱田 豊彦

聴覚障害児対象の入所施設建設補助金の交付について(請願)

〈請願趣旨〉

関東、東北エリアに一つしかない聴覚障害児の入所施設「金町学園」が経営法人の都合で、平成 29 年度末に閉鎖されることになりました。

しかし、聴覚障害児の入所施設は、次の理由から必要です。

1. 保護者のいない児童、親自身の病気や経済的理由、そして親からの虐待など、何らかの理由で家庭生活を続けることが困難となった聴覚障害児童(重複障害含む)が安心して暮らせる場所が必要である
 2. 金町学園は定員 30 名のところ、28 年 6 月現在 28 名、27 年度は 30 名～29 名が在園し、各地の児童相談所から緊急な状況も含め、現在も年間を通して多数の入所希望の相談があり、金町学園が閉園するとこの受け皿が失われる
 3. 現施設は東日本地域で唯一の聴覚障害児の施設(他は北海道室蘭市、愛知県名古屋市のみ)となっており、これまでも東京・関東圏のみならず全国的に広い地域の児童が入園している
 4. 聴覚障害児の中心的なコミュニケーション手段は「手話」であり、基礎となる言語の発達のためには、手話集団による生活環境が必要である。そのために手話を意思疎通の基盤とした入所施設は不可欠であり、聴覚障害児が音声言語(聞く、話す)を基盤とした通常の児童施設で生活することは周囲とのコミュニケーションが成り立たず、適切な発達が妨げられる可能性がある
- 以上により、国及び東京都は新たな聴覚障害児入所施設建設においてその施設を補助金交付対象とすべきである。

〈請願事項〉

国及び東京都は平成 29 年度の障害者(児)施設整備補助金を優先的に交付してください

(署名欄)

氏名	住所

この署名による個人情報、本申請以外に使用しません。